

ご意見・ご要望		投稿日	平成30年8月13日
件名	子供の健診の衛生状況について		
本文	<p>保健センターで子供の1歳6ヶ月健診を受診しました。帰宅後調子が悪くなり、2日後の午前に救急医療センターに行ったところ、小児科の先生から「ヘルパンギーナ」に感染しているとの診断を頂きました。健診を受診させていただいている立場でこのようなことを申し上げるのは恐縮なのですが、6ヶ月健診の時にも「手足口病」を直後に発症するなど、健診の後には必ずなにか病気をもらってくる、ということが二度続き、正直申し上げて衛生面に問題があるのではないか、と思っております。もちろん配慮はして下さっているのだと思いますが、オムツを脱がせての体重測定など、親から見て不要(オムツのままでも十分ではないか?)と思われるような測定もあり、少なくとも親がオムツを取るかどうかを選べるようにしていただきたいと思っております。また、検診が終わってそれで終わり、ではなく、「健診には他の子供との集団での時間が続くため、病気がうつる可能性が高い。受診時にはそのリスクを考慮するとともに、感染の恐れがある子は連れてこないようにして下さい」と注意喚起をしたり、「健診のあと、子供が調子を崩したときはご連絡下さい」と積極的に問いかけるなどの形で、健診という場でどれだけ病気の感染が起こっているのか、何らかの形で追跡調査を行い、その結果を公表するなどの措置もとられてはいかがでしょうか。ご検討をお願い致します。</p>		
回答		回答日	平成30年8月20日
担当部署	子ども未来部 子ども未来総室 母子保健課		
本文	<p>この度は、お子様が乳幼児健康診査を受診された後に体調を崩されてしまったことに、心からお見舞いを申し上げます。</p> <p>本市では、乳幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的に乳幼児健康診査を行っております。</p> <p>今回、ご意見、ご質問いただきました衛生状況につきましては、正確な身体計測を行うため、乳幼児身体発育評価マニュアル(厚生労働省)に基づき、身体計測は全裸で行っております。</p> <p>感染症等における注意喚起につきましては、健診の案内通知の裏面に「健診当日に風邪の症状(発熱・ひどいくしゃみや鼻水)がある場合や、水ぼうそうなどの感染症が疑われる場合は、他の受診者に感染する恐れがあるため、受診をご遠慮ください。」との記載をしているところであります。</p> <p>今後においても、まずは身体計測に携わる職員の手指消毒の徹底、案内通知における注意喚起文書の強調等を行い、より一層、衛生面に留意し、感染の拡大を防ぐために努めてまいります。</p> <p>引き続き、乳幼児健康診査につきましてご理解とご協力を賜りますことをお願い申し上げます。</p>		